

愛知県三河青い鳥医療療育センター

愛知県岡崎市

設計・監理／東畑建築事務所
施工／矢作建設工業

Aichi Prefectural Mikawa Aoitori Medical and Rehabilitation Center for Developmental Disabilities
Tohata Architects & Engineers



建物正面 三角屋根のエントランスホール＝「大きな家」



南側園庭 南面するプレイコート



航空写真 低層かつ建物を分節化し生活の場としてのスケール感を創出



建物北西から見る アースカラーを基調とした外観

はじめに

愛知県岡崎市、緑豊かな都市計画公園に隣接して建つ療育センターの移転新築計画である。旧施設は愛知県東部（三河地区）の肢体不自由児・重症心身障害児者へ医療と療育を総合的に提供する施設として半世紀以上の実績を重ね、特に肢体不自由児に対しては全国的にも有数の医療機能を培ってきた歴史がある。

移転新築にあたり、これまでの当施設が担ってきた役割をさらに拡充してゆくとともに、社会情勢の変化に伴い新たに重症心身障害児者の入所施設を整備し、さらに充実した施

設として生まれ変わった。

様々な機能が複合した「まち」

敷地は岡崎市中心部から約5.6kmと利便性の高い場所でありながら、都市公園である岡崎中央総合公園に隣接し、周囲を緑で囲まれた自然豊かな環境を有している。約10,000㎡の建物を低層（2階建て）で構成し、建物ボリュームを分節化することで「ハコ＝家」によって構成される様々な機能が複合した「まち」をつくりだし、子どもの生活の場としてふさわしいスケール感を創出した。建物の「顔」となるエントランス部には大きな三角屋根を配置し「大きな家」として利用者を

やさしく迎え入れる構成としている。

また利用者に安らぎを与える「質感」を大切にすることを心掛け、外壁はアースカラーを基調としたタイル、外部軒天及びエントランスホールは愛知県産の杉を採用するなど自然素材を活かした構成とすることで豊かな周辺環境と建物との調和を図っている。

子どもの視点で考えた空間づくり

子どもに「怖いところ」というイメージを与えず、かと言って無味乾燥ではなく、療育にとっても効果的である「感覚をやさしく刺激する空間」をつくりだすことを目標として設計を進めた。

エントランスホールは愛知県産材の杉のルーバーで構成される「森」をイメージした空間とし、それに続く活動室を「まち」に見立て、「森の中のちいさなまち」づくりを建物全体のコンセプトとしている。また、外来のメインストリートには岡崎市の自然・歴史をテーマとした壁画を設置し、「山」と「川」をモチーフとした2つの待合に、壁画のキャラクターが各診察室のサインとして配置されるなど、内装、照明、アート、サイン計画が一体となった空間づくりを目指した。

「居住性」と「機能性」の両立

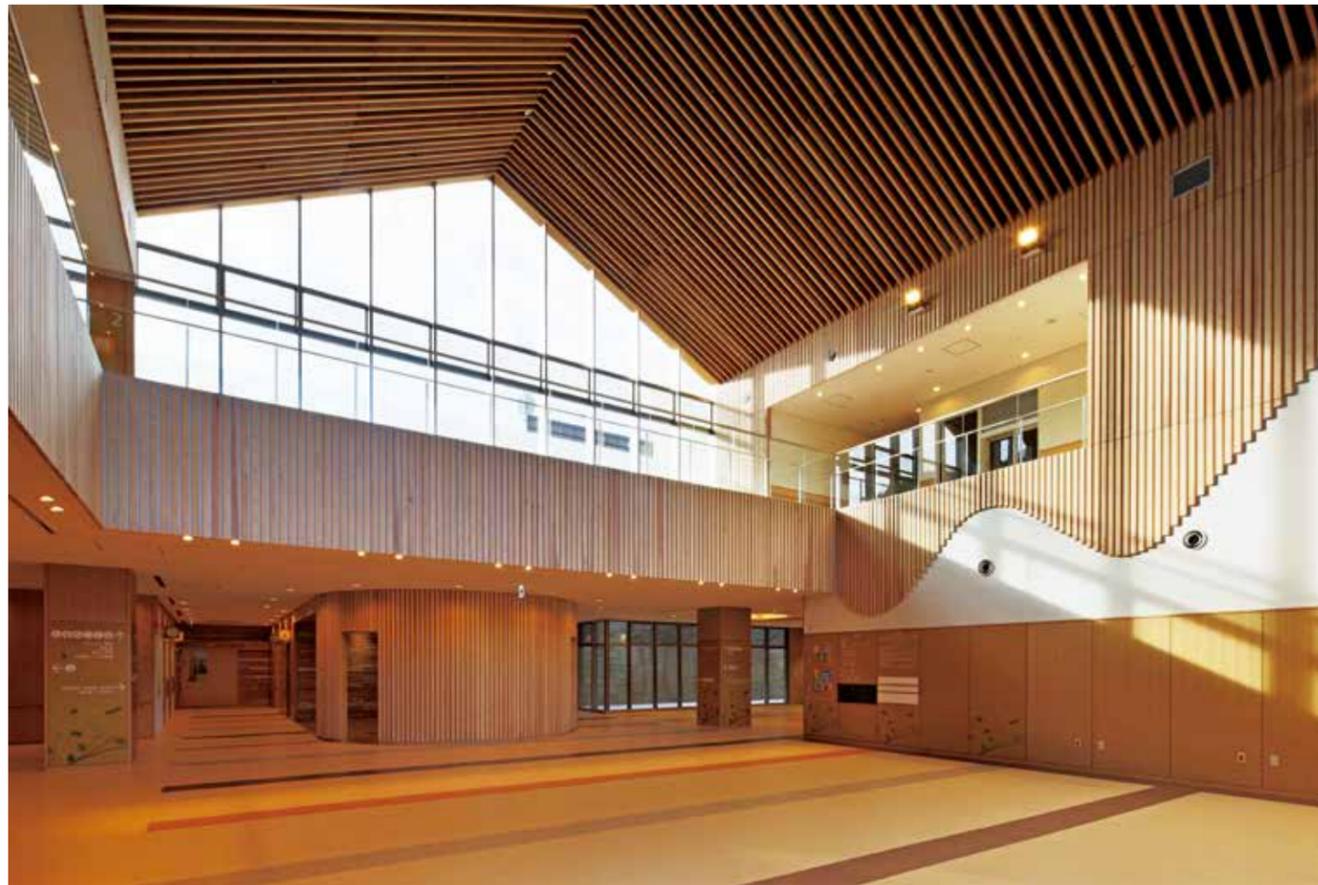
平面計画においては生活の場としての「居住

性」と医療施設としての「機能性」の両立を目指し設計を進めた。重症心身障害児者の病棟は中心に配置されたデイルームを病室が囲う特徴的な平面計画とし、病室からデイルームへの移動を容易にすることで日々の離床を促すとともに、入所者がデイルームを「居間」として認識できる、家庭的な雰囲気を持った構成としている。また、肢体不自由児病棟から施設内学級への動線はあえて外部を通り登下校を行うことで、生活にメリハリをつけるなど、生活の場としての施設づくりを大切に設計を進めた。

（寺尾達也／東畑建築事務所）



配置図 縮尺1/4,000



ホール 愛知県産の杉に包まれたエントランスホール＝「森」



肢体不自由児4床室



重症心身障害児者4床室



洗面コーナー



左上/ラウンジ 受付に隣接したラウンジ 左下/外来待合1 「川」をモチーフにした外来待合



右上/外来廊下 地域の自然・歴史をモチーフにしたホスピタルアート 右下/施設内学級 施設内学級

愛知県三河青い鳥医療療育センター データ
所在地 愛知県岡崎市高隆寺町小屋場9番地3
主要用途 病院・児童福祉施設
建築主 愛知県
設計・監理 東畑建築事務所
 担当/総括：今野直史 建築：寺尾達也、柱 健太郎
 構造：大城達彦、中牟田 昌慶 設備：中野 格、三宅光義、石橋尚之
 ホスピタルアート協力 名古屋市立大学大学院芸術工学部芸術工学研究科 鈴木賢一研究室
施工
 建築 矢作建設工業
 担当/杉浦竜介、坂井俊也、吉原 誠、横井有史



寺尾 達也……てらお たつや
 1972年生まれ。1997年九州大学大学院修了、同年東畑建築事務所入社。現在、同社主管



柱 健太郎……はしら けんたろう
 1978年生まれ。2004年大阪大学大学院修了、同年東畑建築事務所入社。現在、同社主任技師



中牟田 昌慶……なかむた まさよし
 1982年生まれ。2007年京都工芸繊維大学大学院修了、同年東畑建築事務所入社。現在、同社技師

電気 三立 担当/長原靖英、小林一矢
 空調 桶兼住設 担当/近藤昌之
 衛生 辻村工業 担当/鈴木卓也
 昇降機 三菱電機 担当/近藤福生
 浄化槽 藤吉工業 担当/大場伸良
 外構 朝日工業 担当/鈴木喜生、加藤一博
 植栽 柴田造園 担当/増田 健、山内一夫
設計期間 2011年9月～2013年3月
工事期間 2014年3月～2016年3月

[建築概要]
敷地面積 19,999.50㎡
建築面積 7,483.95㎡
延床面積 10,524.08㎡
建ぺい率 37.43% (許容200%)
容積率 51.01% (許容60%)
構造規模 RC造 地上2階
最高高さ 12.62m
軒高 12.55m
階高 4.5m
天井高さ 2.6m
主なスパン 6m×6m
道路幅員 16.0m
駐車台数 203台
地域地区 都市計画区域内、市街化調整区域

[病棟概要]
診療科目 全8科
 整形外科、小児科、リハビリテーション科、精神科、泌尿器科、内科、耳鼻いんこう科、歯科
病棟構成 病床数：全140床 医療型障害児入所施設
 肢体不自由児：1床3室、2床1室、4床10室、母子入園1床5室 合計50床 重症心身障害児(者)：1床6室、2床6室、4床18室 合計90床
1床当延床面積 75.2㎡
1床当病棟基準階面積 26.5㎡

[設備概要]
電気設備 受電方式/屋外型キュービクル6.6kV1回線 変圧器容量/2,150kVA 予備電源/ディーゼル発電機400kVA
空調設備 空調方式/電気式ヒートポンプエアコン及び外気処理ヒートポンプエアコン、全熱交換器 熱源/電気
衛生設備 給水/市水、雨水(雑用水) 給湯/エコキュートによるセントラル給湯方式 排水/浄化槽
防災設備 消火/スプリンクラー設備 排煙/自然排煙
昇降機 寝台用15人乗×2基、乗用15人乗×1基、人荷用15人乗×1基
[主な外部仕上げ]
屋根 RC造外断熱工法、RC造+金属屋根葺き
外壁 タイル
外構 透水性アスファルト舗装
建具 アルミサッシ

撮影/㈱リフレクト

協力会社

型 枠 工 事	協 和 工 務 店
型 枠 工 事	海 津 建 設
鉄 筋 工 事	橋 本 建 設
金 属 工 事	沢 野 商 会
アルミ製建具工事	三 協 ア ル ミ
内 装 仕 上 工 事	新 生
内 装 仕 上 工 事	トータルインテリアアパシ
内 装 工 事	間 仕 切 や
塗 装 工 事	佐 藤 興 業
サイン工事	工 巴